

新興感染症対応のため整備するもの。

(記入例)

様式 1-21

都道府県： 12千葉県

該当する項目に○を選択

設備整備事業概要

事業区分	新興感染症対応力強化事業（協定締結医療機関設備整備事業）
種目	☐ 簡易陰圧装置
	☒ 検査機器（PCR検査装置）
	☐ 簡易ベッド
	☐ HEPAフィルター付き空気清浄機

年度	令和7年度
計画・実績	1. 事業計画書

団体名（開設者）	施設名	所在地
医療法人社団千葉県庁会	疾病対策課クリニック	千葉市中央区市場町1-1

1. 感染症法に基づく医療措置協定の締結状況（該当する項目に○を選択）

☐ 病床確保（法第36条の2第1項第1号）	☒ 協定締結済み	医療機関のどこに設置するの か分かるよう記入
☒ 発熱外来（法第36条の2第1項第2号）	型番等を記入	締結予定

2. 設備整備内訳

品目	メーカー	規格	数量	単価 (税込)	金額 (税込)	設置場所	整備の様態
PCR検査装置	●▲株式会社	○AB-×●	1	円 9,000,000	円 9,000,000 0 0	発熱外来用 診察室A	1. 新規
・「新興感染症対応のため整備するもの。」の一文は必ず記入ください。 ・新興感染症対応のため、どうしてその設備を整備する必要があるのか、具体的に記入ください。 また、複数台の整備を必要とする場合は、その理由もわかるよう記入ください。 ※本事業はら類移行後の新型コロナ対応を目的とした補助事業ではありませんので、ご注意ください。							
					0 0 0		
				合計	9,000,000		

3. 整備事業の必要性（具体的に記入すること）

設備整備を必要とする理由

・例1_新規の場合

新興感染症対応のため整備するもの。

今後新興感染症が発生した際には、自院で検体の検査まで行うことで速やかな診断が可能となるため、PCR検査装置を新規に整備したい。

・例2_増設の場合

新興感染症対応のため整備するもの。

現在の検査能力は1日当たり5件である。今後新興感染症が発生した際に、発熱外来は1日当たり10人対応可能であり、検査能力を1日当たり10件に強化するため、PCR検査装置を増設したい。

・例3_更新の場合

新興感染症対応のため整備するもの。

現在所有しているPCR検査装置は令和○年○月に設置したものであるが、機器の耐用年数を経過したことから、買い替えが必要である。今後新興感染症が発生した際に、適切に自院で検査ができるよう、PCR検査装置を更新したい。